

小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

発行日
平成29年3月24日(金)
発行者
宗谷管内地域未来づくり
会議事務局

平成28年度第3回地域未来づくり会議

平成29年3月23日(木) 13:30から、北海道利尻高等学校において、「利尻町ふるさとキャリア教育推進委員会」と兼ねて「第3回地域未来づくり会議」を開催しました。

本会議には25名の方が出席し、事務局から、今年度実施した本事業に係る評価指標の結果や2月17日(金)に札幌市で開催された「第2回北海道キャリア教育推進会議」の内容についての報告と、各研究指定校から、今年度の取組についての報告がありました。

また、出席者による協議を行い、これまでの本事業の成果や課題、次年度に向けた取組の改善充実の方策などについて、意見交流が行われました。



協議「平成28年度の取組について」

【主な成果(○)と課題(▲)】

○本事業を通じて、子どもたちは多面的・多角的な視点を持つことができたこと。

○外部人材を活用した講演会は、学校の授業だけでは教えることができない“真実味のある”職業について教える機会であるとともに、地域と結び付くことのできるよい機会であること。

▲本事業に係る評価指標の項目において、「ふるさと」に関する事項に重点が置かれ、「キャリア」に関する項目が少ないため、項目を整理し、バランスをとる必要があること。

▲今後、本事業に係る地域へのPRを充実させるとともに、地域をどのように巻き込んでいくかが鍵となること。



協議「平成29年度の取組について」

【主な意見】

・各校においてキャリア教育の理解が進んでいる。今後一層、小中高の連携を図るとともに、本事業の終了後も継続して取組を行うことができる仕組みについて検討していきたいこと。

・「キャリア教育の全体計画」に地域住民との関わりを位置付けたり、全体計画を踏まえ各学級・HRの経営計画を作成したりするなどの工夫が必要であること。

・「地域に開かれた教育課程」とするために、子どもたちが地域で身に付けた能力を、地域に還元するような往還的な取組としてほしいこと。



助言(稚内北星学園大学 侘美准教授)

・成果の検証を行う上で、取組には評価が必要であるため、子どもたちがどのように変容したかなどを的確に把握できるよう、評価指標を整理する必要があること。

・利尻島においては、今後、海外からの観光客の増加も見込まれている。大きな社会の潮流を見据え、本事業終了後も継続的に取組を行うための方策についても検討してほしいこと。

